

資料編

目 次

資料編	1 アンケート調査結果	1
	(1) 町民アンケート調査結果	1
	(2) 事業者アンケート調査結果	11
資料編	2 環境指標(数値目標)一覧表	17
資料編	3 用語集	18

資料編 1 アンケート調査結果

(1) 町民アンケート調査結果

アンケート実施概要

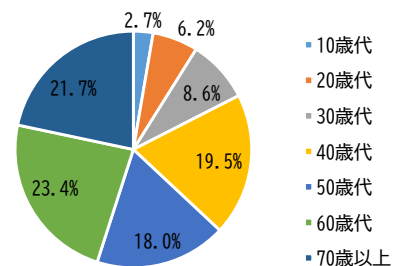
タイトル	三木町の環境に関するアンケート調査
対象	三木町民
人数	1066名(無作為抽出)
調査方法	郵送による回答及びWeb回答
調査期間	2023年10月4日(木)～10月20日(金)
有効回答数	595(郵送:499、Web回答:96)
回収率	55.8%

町民アンケート調査結果

問1. 以下の項目それぞれについて、あてはまる番号を1つずつ選び、○をつけてください。

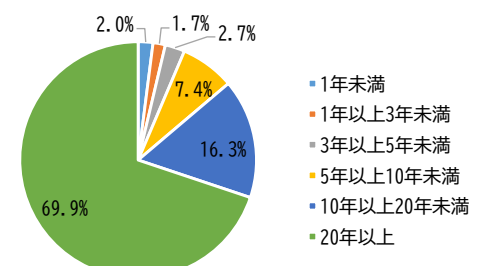
①回答者の年齢

	選択肢	回答数	割合
1	10歳代	16	2.7%
2	20歳代	37	6.2%
3	30歳代	51	8.6%
4	40歳代	116	19.5%
5	50歳代	107	18.0%
6	60歳代	139	23.4%
7	70歳以上	129	21.7%
	有効回答数	595	100.0%
	無回答	0	



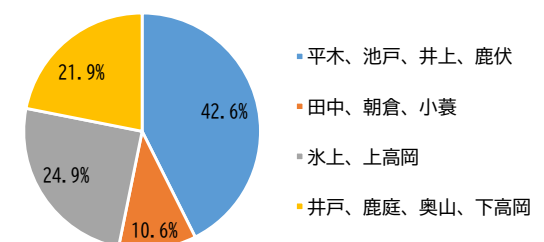
②三木町での居住年数

	選択肢	回答数	割合
1	1年未満	12	2.0%
2	1年以上3年未満	10	1.7%
3	3年以上5年未満	16	2.7%
4	5年以上10年未満	44	7.4%
5	10年以上20年未満	97	16.3%
6	20年以上	415	69.9%
	有効回答数	594	100.0%
	無回答	1	



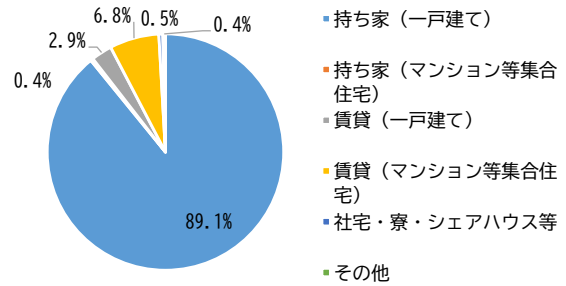
③お住いの場所

	選択肢	回答数	割合
1	平木、池戸、井上、鹿伏	253	42.6%
2	田中、朝倉、小蓑	63	10.6%
3	氷上、上高岡	148	24.9%
4	井戸、鹿庭、奥山、下高岡	130	21.9%
	有効回答数	594	100.0%
	無回答	1	



④居住形態

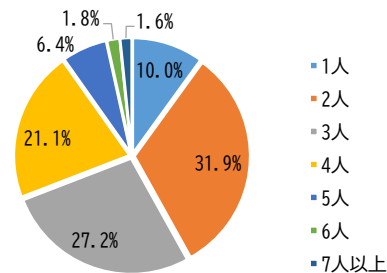
選択肢		回答数	割合
1	持ち家（一戸建て）	500	89.1%
2	持ち家（マンション等集合住宅）	2	0.4%
3	賃貸（一戸建て）	16	2.9%
4	賃貸（マンション等集合住宅）	38	6.8%
5	社宅・寮・シェアハウス等	3	0.5%
6	その他	2	0.4%
有効回答数		561	100.0%
無回答		34	



その他の内容	
施設	2件

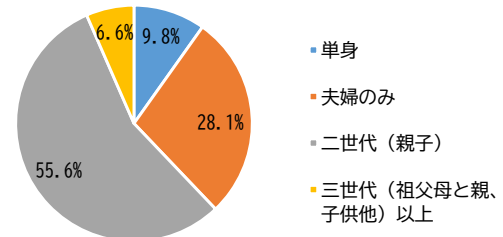
⑤世帯数

選択肢		回答数	割合
1	1人	55	10.0%
2	2人	176	31.9%
3	3人	150	27.2%
4	4人	116	21.1%
5	5人	35	6.4%
6	6人	10	1.8%
7	7人以上	9	1.6%
有効回答数		551	100.0%
無回答		44	



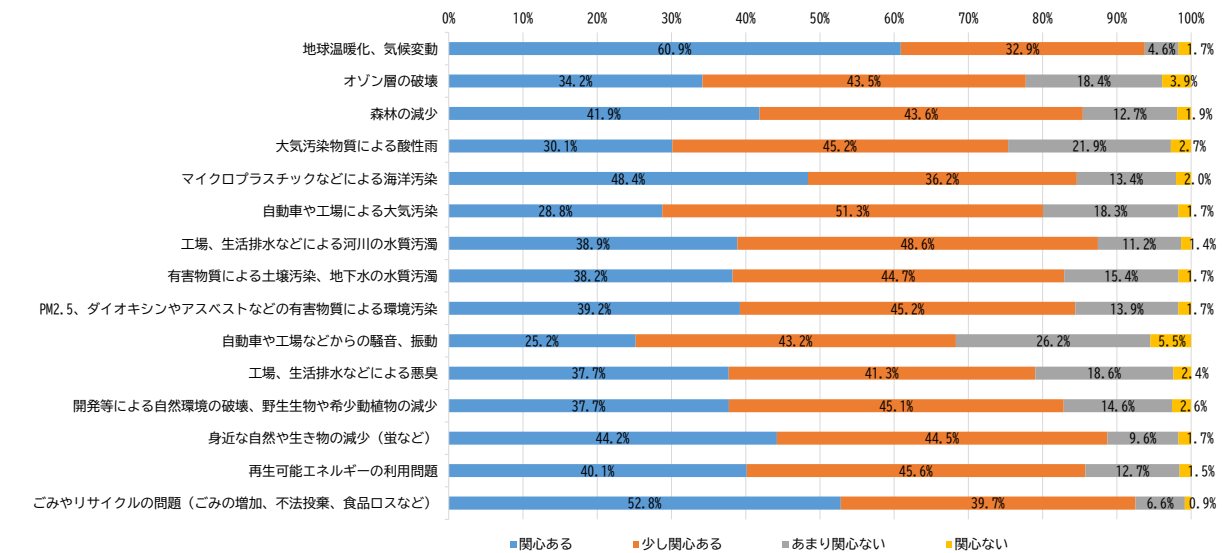
⑥家族構成

選択肢		回答数	割合
1	単身	54	9.8%
2	夫婦のみ	154	28.1%
3	二世帯（親子）	305	55.6%
4	三世帯（祖父母と親、子供他）以上	36	6.6%
有効回答数		549	100.0%
無回答		46	



問2. 環境問題について、あなたがより関心を持っているものはどれですか。下表の項目ごとにあてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

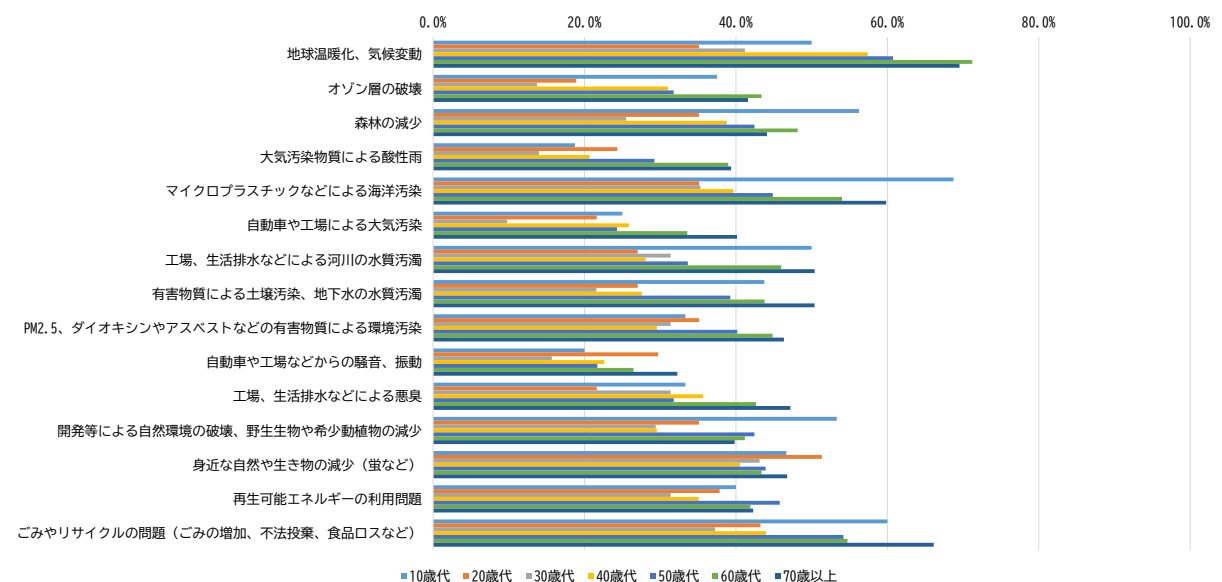
項目	選択肢						回答率			
	関心ある	少し関心ある	あまり関心ない	関心ない	有効回答数	無回答	関心ある	少し関心ある	あまり関心ない	関心ない
1 地球温暖化、気候変動	361	195	27	10	593	2	60.9%	32.9%	4.6%	1.7%
2 オゾン層の破壊	201	256	108	23	588	7	34.2%	43.5%	18.4%	3.9%
3 森林の減少	247	257	75	11	590	5	41.9%	43.6%	12.7%	1.9%
4 大気汚染物質による酸性雨	177	266	129	16	588	7	30.1%	45.2%	21.9%	2.7%
5 マイクロプラスチックなどによる海洋汚染	286	214	79	12	591	4	48.4%	36.2%	13.4%	2.0%
6 自動車や工場による大気汚染	170	303	108	10	591	4	28.8%	51.3%	18.3%	1.7%
7 工場、生活排水などによる河川の水質汚濁	229	286	66	8	589	6	38.9%	48.6%	11.2%	1.4%
8 有害物質による土壌汚染、地下水の水質汚濁	226	264	91	10	591	4	38.2%	44.7%	15.4%	1.7%
9 PM2.5、ダイオキシンやアスベストなどの有害物質による環境汚染	229	264	81	10	584	11	39.2%	45.2%	13.9%	1.7%
10 自動車や工場などからの騒音、振動	147	252	153	32	584	11	25.2%	43.2%	26.2%	5.5%
11 工場、生活排水などによる悪臭	221	242	109	14	586	9	37.7%	41.3%	18.6%	2.4%
12 開発等による自然環境の破壊、野生生物や希少動植物の減少	220	263	85	15	583	12	37.7%	45.1%	14.6%	2.6%
13 身近な自然や生き物の減少（虫など）	259	261	56	10	586	9	44.2%	44.5%	9.6%	1.7%
14 再生可能エネルギーの利用問題	234	266	74	9	583	12	40.1%	45.6%	12.7%	1.5%
15 ごみやリサイクルの問題（ごみの増加、不法投棄、食品ロスなど）	310	233	39	5	587	8	52.8%	39.7%	6.6%	0.9%
16 その他	17									



	その他の内容
1	コロナで川が汚れた。
2	ため池、河川で繁殖している外来種の植物や魚など
3	過去（かなり前）の環境状況
4	外来生物
5	環境配慮型給湯器などの推進の遅れ
6	空き家
7	空き家の増加
8	犬のふん、のら猫えさやり
9	犬の放し飼い
10	香害について
11	捨てネコ、イヌ等
12	人為的騒音、殺虫剤や農薬等による公道及び私有地の植生変化
13	道端の雑草
14	道路かへこんで騒音うるさい
15	不法投棄取締
16	分別をもっと細かく
17	野焼き

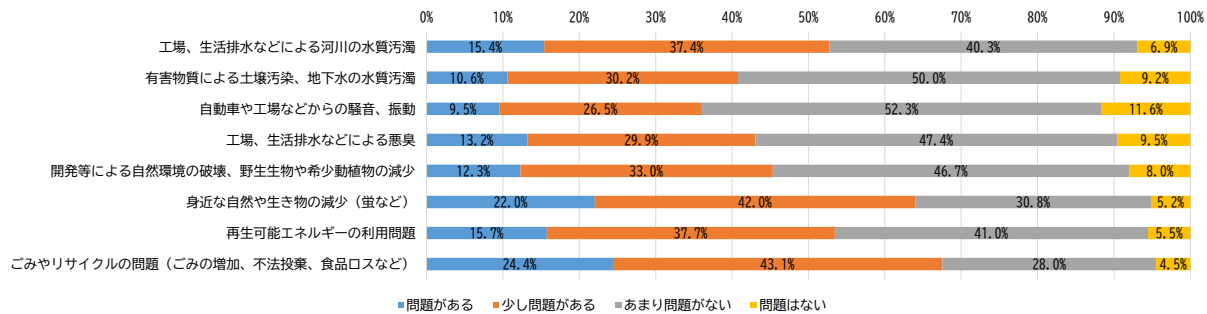
◆年代別

関心ある



問3. 環境問題について、あなたが三木町として問題があると考えているものはどれですか。下表の項目ごとにあてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

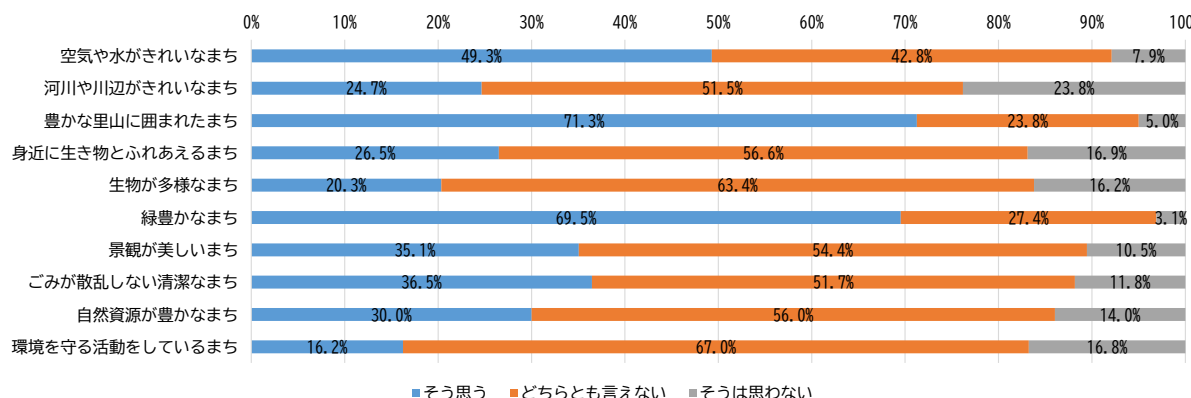
項目		選択肢						回答率			
		問題がある	少し問題がある	あまり問題はない	問題はない	有効回答数	無回答	問題がある	少し問題がある	あまり問題がない	問題はない
1	工場、生活排水などによる河川の水質汚濁	89	216	233	40	578	17	15.4%	37.4%	40.3%	6.9%
2	有害物質による土壌汚染、地下水の水質汚濁	61	174	288	53	576	19	10.6%	30.2%	50.0%	9.2%
3	自動車や工場などからの騒音、振動	55	153	302	67	577	18	9.5%	26.5%	52.3%	11.6%
4	工場、生活排水などによる悪臭	76	172	273	55	576	19	13.2%	29.9%	47.4%	9.5%
5	開発等による自然環境の破壊、野生生物や希少動植物の減少	71	191	270	46	578	17	12.3%	33.0%	46.7%	8.0%
6	身近な自然や生き物の減少（虫など）	128	244	179	30	581	14	22.0%	42.0%	30.8%	5.2%
7	再生可能エネルギーの利用問題	91	218	237	32	578	17	15.7%	37.7%	41.0%	5.5%
8	ごみやリサイクルの問題（ごみの増加、不法投棄、食品ロスなど）	142	251	163	26	582	13	24.4%	43.1%	28.0%	4.5%
9	その他	19									



その他の内容	
1	ゴミのポイ捨て
2	ジャンボタニシなどの外来種の生物の繁殖
3	外来生物（アカミミガメの増加）
4	空き家の増加
5	犬のふん、のら猫えさやり
6	三木町の環境に対する現状が見えない
7	山での不法投棄
8	田んぼで燃やす人々
9	田畑でゴミを燃やす
10	東山産業の臭いがいつまで経っても改善しない。それにやり、住むのを止める人もいて、一番の問題だと思う。
11	白山
12	野焼き
13	野焼き・農地の管理 2
14	野焼きによる煙・悪臭
15	野焼きによる空気汚染
16	野焼きの煙がくさい
17	用水路への投棄（缶、ペットボトル、エンジンオイル、余剰除草剤 等）
18	老人

問4. 三木町の今の環境のイメージとして、あなたが思う内容はどれですか。下表の項目ごとにあてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

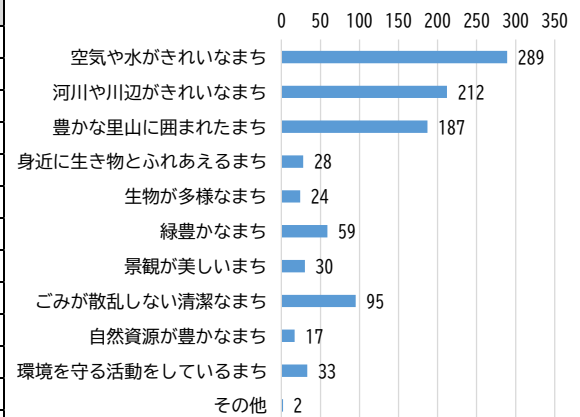
項目		選択肢				回答率		
		そう思う	どちらとも言えない	そうは思わない	有効回答数	無回答	そう思う	どちらとも言えない
1	空気や水がきれいなまち	288	250	46	584	11	49.3%	42.8%
2	河川や川辺がきれいなまち	144	301	139	584	11	24.7%	51.5%
3	豊かな里山に囲まれたまち	414	138	29	581	14	71.3%	23.8%
4	身近に生き物とふれあえるまち	154	329	98	581	14	26.5%	56.6%
5	生物が多様なまち	118	368	94	580	15	20.3%	63.4%
6	緑豊かなまち	404	159	18	581	14	69.5%	27.4%
7	景観が美しいまち	203	315	61	579	16	35.1%	54.4%
8	ごみが散乱しない清潔なまち	213	302	69	584	11	36.5%	51.7%
9	自然資源が豊かなまち	174	325	81	580	15	30.0%	56.0%
10	環境を守る活動をしているまち	94	388	97	579	16	16.2%	67.0%
11	その他	15						



その他の内容	
1	うるさい、人が多い
2	ゴミの散乱（罰則の強化）や、不要な資料等
3	ごみを燃やす臭いがすごい
4	ポイ捨てが多い
5	活動をしていることを知らないから
6	活動内容を聞いたことがない
7	犬、のら猫が多い
8	耕作放棄地が多いまち
9	最近家建てすぎ
10	側溝が多すぎる（フタがほしい）
11	田んぼで燃やす人々が出す空気汚染
12	表通りはきれいだが、奥のほうは草だらけ
13	野焼きが多いまち
14	野焼きを放任しているまち
15	老人

問5. 三木町の環境のイメージとして、あなたが将来残したいと思う内容は何ですか。下表の項目の中から該当するものを2つまで選んで○をつけてください。

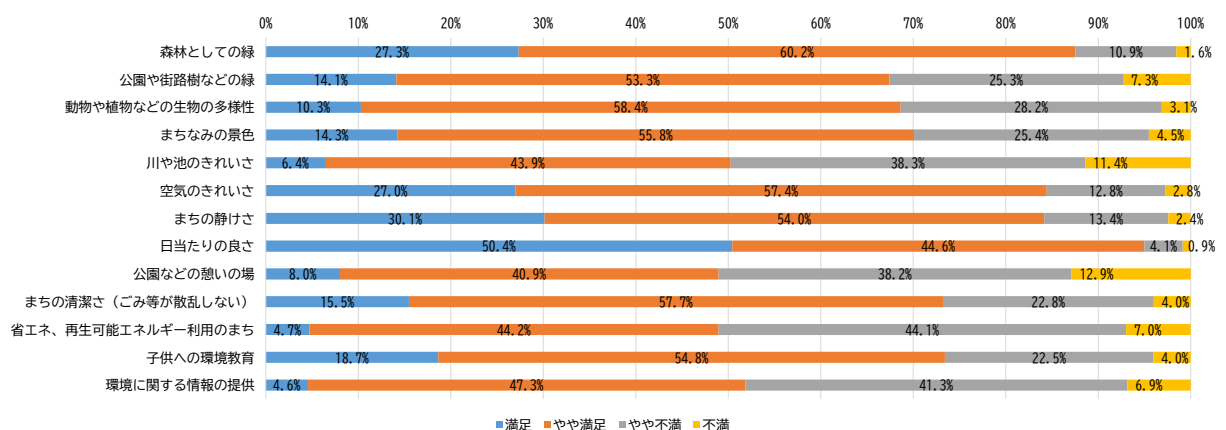
選択肢	回答数	割合
1 空気や水がきれいなまち	289	58.6%
2 河川や川辺がきれいなまち	212	43.0%
3 豊かな里山に囲まれたまち	187	37.9%
4 身近に生き物とふれあえるまち	28	5.7%
5 生物が多様なまち	24	4.9%
6 緑豊かなまち	59	12.0%
7 景観が美しいまち	30	6.1%
8 ごみが散乱しない清潔なまち	95	19.3%
9 自然資源が豊かなまち	17	3.4%
10 環境を守る活動をしているまち	33	6.7%
11 その他	2	0.4%
有効回答数	493	100.0%
無回答	102	



その他の内容
野焼きを厳しく制限するまち

問6. あなたが住んでいる地域の環境について、現在どの程度満足されていますか。下表の項目ごとにあってはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

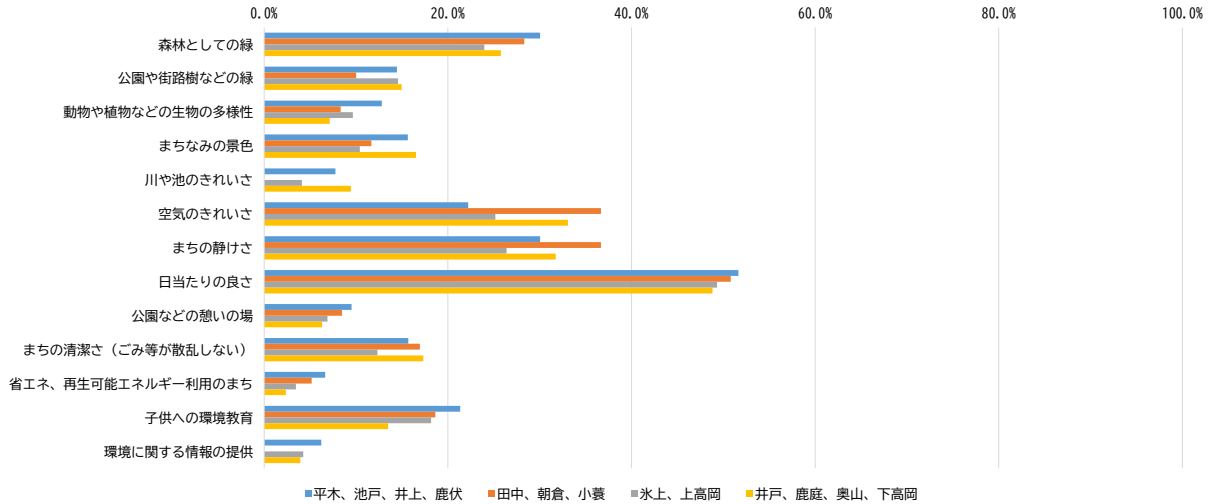
項目	選択肢						回答率			
	満足	やや満足	やや不満	不満	有効回答数	無回答	満足	やや満足	やや不満	不満
1 森林としての緑	158	348	63	9	578	17	27.3%	60.2%	10.9%	1.6%
2 公園や街路樹などの緑	81	306	145	42	574	21	14.1%	53.3%	25.3%	7.3%
3 動物や植物などの生物の多様性	59	335	162	18	574	21	10.3%	58.4%	28.2%	3.1%
4 まちなみの景色	82	321	146	26	575	20	14.3%	55.8%	25.4%	4.5%
5 川や池のきれいさ	37	254	222	66	579	16	6.4%	43.9%	38.3%	11.4%
6 空気のきれいさ	156	332	74	16	578	17	27.0%	57.4%	12.8%	2.8%
7 まちの静けさ	173	310	77	14	574	21	30.1%	54.0%	13.4%	2.4%
8 日当たりの良さ	292	258	24	5	579	16	50.4%	44.6%	4.1%	0.9%
9 公園などの憩いの場	46	235	219	74	574	21	8.0%	40.9%	38.2%	12.9%
10 まちの清潔さ（ごみ等が散乱しない）	89	332	131	23	575	20	15.5%	57.7%	22.8%	4.0%
11 省エネ、再生可能エネルギー利用のまち	27	253	252	40	572	23	4.7%	44.2%	44.1%	7.0%
12 子供への環境教育	106	311	128	23	568	27	18.7%	54.8%	22.5%	4.0%
13 環境に関する情報の提供	26	269	235	39	569	26	4.6%	47.3%	41.3%	6.9%
14 その他	10									



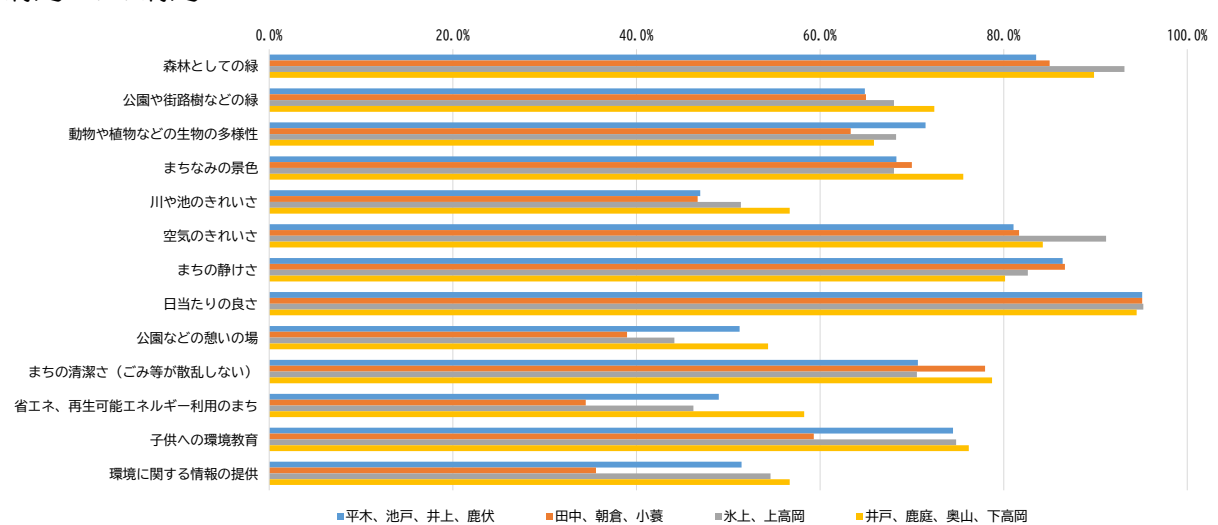
その他の内容	
1	(生活環境として記載します) 1. 自治体問題や廃墟問題が加速、神社や寺院の収入減少に伴う自治体の負担増加やネズミやシロアリ増加の害虫問題 2. 三木町に限った話ではないが住民マナーの低下、公共マナーの低下が著しい（未成年の飲酒喫煙、家庭でのゴミや植物の焼却による臭いや煙、学生のコンビニでのたむろ等） 3. 教育現場の厳しい指導ができない現状故に、学習教育、社会教育の低下、それに伴うモンスターペアレントやいじめ等の増加 4. 決まった企業や事業者への依頼による公金の費用増大（教育費や医療費の増大は大変ありがたい一方、前述は修正すべきでは、と個人的意見です）
2	空気汚染
3	耕作放棄地が多い
4	三木町が取り組んでいる施策が見えない（達成度）
5	子どもたちの遊び場（各校区内）
6	道がせまい
7	道路が穴だらけ、子供がキケン
8	平井小の環境整備
9	野良猫が多い
10	老人

◆地域別

①満足

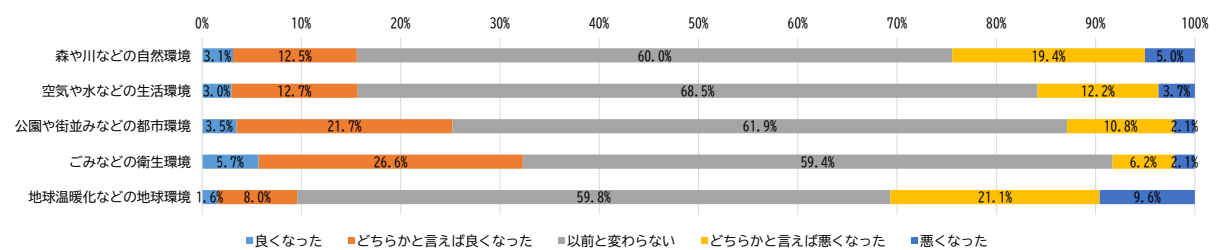


②満足+やや満足



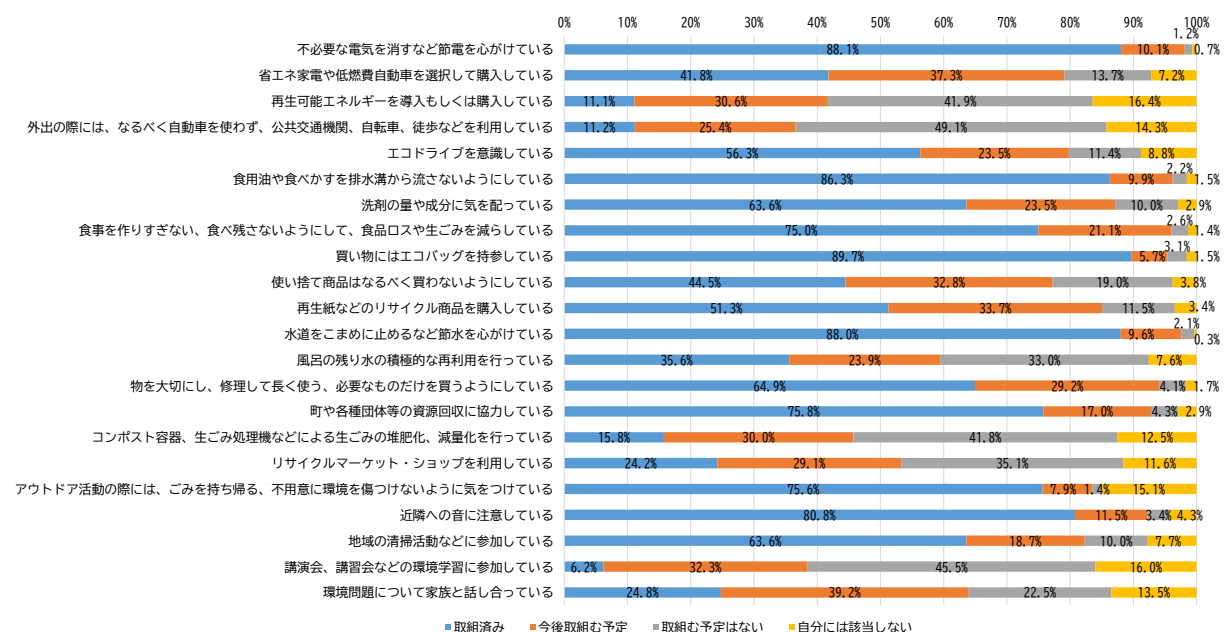
問7. 三木町の環境について、10年前（居住年数10年未満の方は住み始めたころ）と比べて良くなった
 と思いますか。それとも悪くなったと思いますか。下表の項目ごとにあてはまる番号を1つ選んで○
 で囲んでください。

項目		選択肢							回答率				
		良くな った	どちらか と言え ば良くな った	以前と変 わらない	どちらか と言え ば悪くな った	悪くな った	有効回答 数	無回答	良くな った	どちらか と言え ば良くな った	以前と変 わらない	どちらか と言え ば悪くな った	悪くな った
1	森や川などの自然環境	18	72	346	112	29	577	18	3.1%	12.5%	60.0%	19.4%	5.0%
2	空気や水などの生活環境	17	73	393	70	21	574	21	3.0%	12.7%	68.5%	12.2%	3.7%
3	公園や街並みなどの都市環境	20	125	356	62	12	575	20	3.5%	21.7%	61.9%	10.8%	2.1%
4	ごみなどの衛生環境	33	154	344	36	12	579	16	5.7%	26.6%	59.4%	6.2%	2.1%
5	地球温暖化などの地球環境	9	46	343	121	55	574	21	1.6%	8.0%	59.8%	21.1%	9.6%



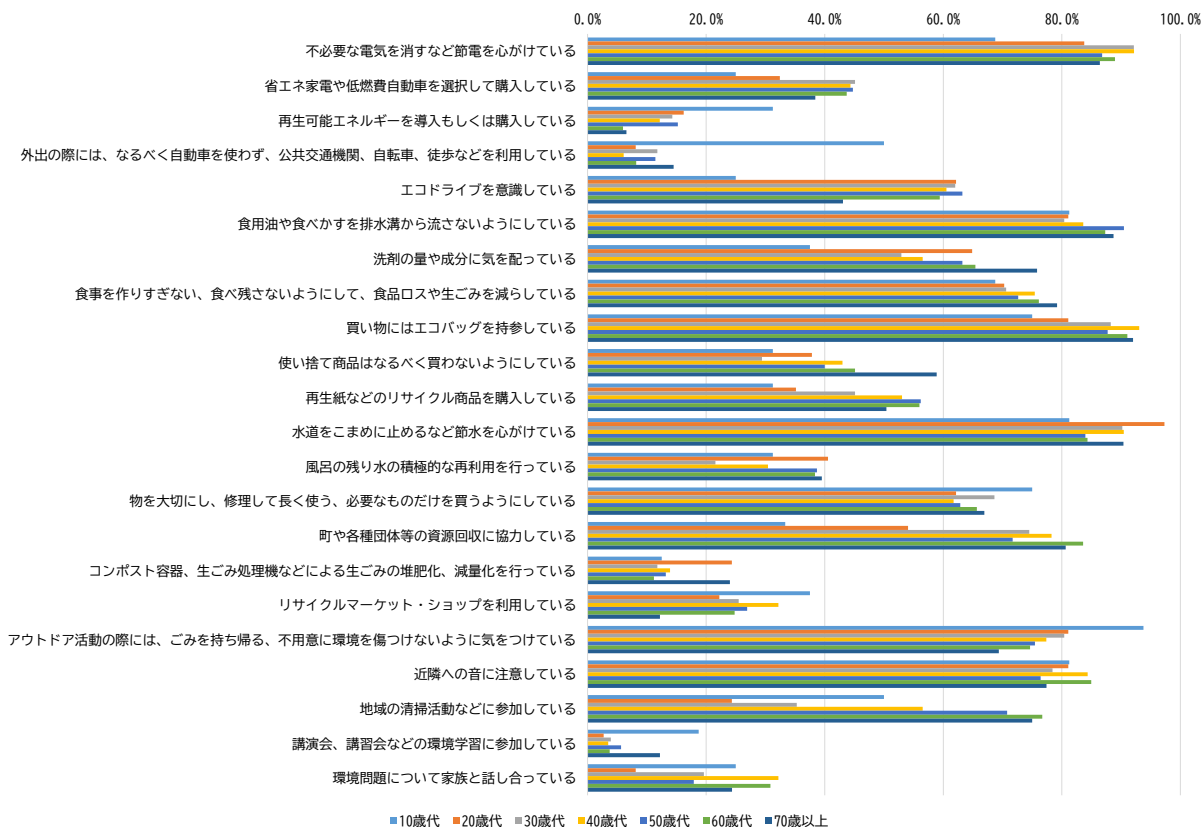
問8. あなたが日頃、生活の中で環境のために取組んでいることは何ですか。下表の項目ごとにあてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

項目	選択肢						回答率			
	取組済み	今後取組む予定	取組む予定はない	自分には該当しない	有効回答数	無回答	取組済み	今後取組む予定	取組む予定はない	自分には該当しない
1 unnecessary電気を消すなど節電を心かけている	516	59	7	4	586	9	88.1%	10.1%	1.2%	0.7%
2 省エネ家電や低燃費自動車を選択して購入している	244	218	80	42	584	11	41.8%	37.3%	13.7%	7.2%
3 再生可能エネルギーを導入もしくは購入している	64	177	242	95	578	17	11.1%	30.6%	41.9%	16.4%
4 外出の際には、なるべく自動車を使わず、公共交通機関、自転車、徒歩などを利用している	65	148	286	83	582	13	11.2%	25.4%	49.1%	14.3%
5 エコドライブを意識している	326	136	66	51	579	16	56.3%	23.5%	11.4%	8.8%
6 食用油や食べかすを排水溝から流さないようにしている	503	58	13	9	583	12	86.3%	9.9%	2.2%	1.5%
7 洗剤の量や成分に気を配っている	370	137	58	17	582	13	63.6%	23.5%	10.0%	2.9%
8 食事を作りすぎない、食べ残さないようにして、食品ロスや生ごみを減らしている	437	123	15	8	583	12	75.0%	21.1%	2.6%	1.4%
9 買い物にはエコバッグを持参している	524	33	18	9	584	11	89.7%	5.7%	3.1%	1.5%
10 使い捨て商品はなるべく買わないようにしている	258	190	110	22	580	15	44.5%	32.8%	19.0%	3.8%
11 再生紙などのリサイクル商品を購入している	298	196	67	20	581	14	51.3%	33.7%	11.5%	3.4%
12 水道をこまめに止めるなど節水を心かけている	514	56	12	2	584	11	88.0%	9.6%	2.1%	0.3%
13 風呂の残り水の積極的な再利用を行っている	207	139	192	44	582	13	35.6%	23.9%	33.0%	7.6%
14 物を大切に、修理して長く使う、必要なものだけを買うようにしている	378	170	24	10	582	13	64.9%	29.2%	4.1%	1.7%
15 町や各種団体等の資源回収に協力している	441	99	25	17	582	13	75.8%	17.0%	4.3%	2.9%
16 コンポスト容器、生ごみ処理機などによる生ごみの堆肥化、減量化を行っている	92	175	244	73	584	11	15.8%	30.0%	41.8%	12.5%
17 リサイクルマーケット・ショップを利用している	140	168	203	67	578	17	24.2%	29.1%	35.1%	11.6%
18 アウトドア活動の際には、ごみを持ち帰る、不用意に環境を傷つけないように気をつけている	441	46	8	88	583	12	75.6%	7.9%	1.4%	15.1%
19 近隣への音に注意している	470	67	20	25	582	13	80.8%	11.5%	3.4%	4.3%
20 地域の清掃活動などに参加している	370	109	58	45	582	13	63.6%	18.7%	10.0%	7.7%
21 講演会、講習会などの環境学習に参加している	36	188	265	93	582	13	6.2%	32.3%	45.5%	16.0%
22 環境問題について家族と話し合っている	143	226	130	78	577	18	24.8%	39.2%	22.5%	13.5%
23 その他	7									



◆年代別

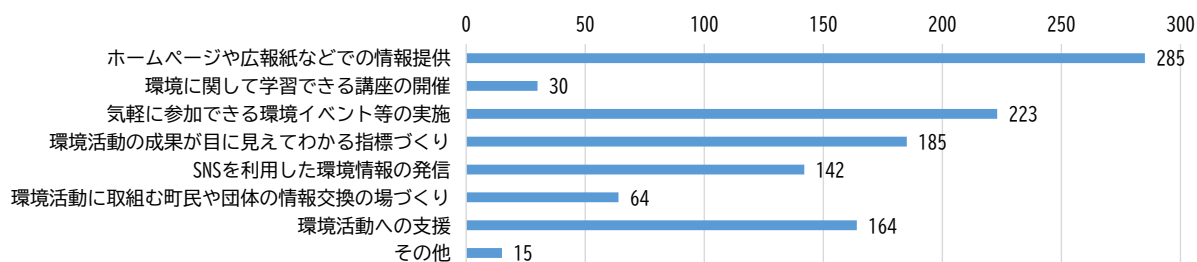
取組済み



その他の内容	
1	うるさい。長楽寺の解体業者
2	リフォーム（再生）住宅の購入
3	外で燃やさない
4	散歩時ごみ拾いをしている。
5	洗濯用干ピンチは直して使用している
6	道路が穴だらけ
7	老人

問9. 三木町の住民の方の環境意識を高め、環境活動の実行を促すためには、何が必要だと思われますか。下表の項目の中から該当するものを2つまで選んで○をつけてください。

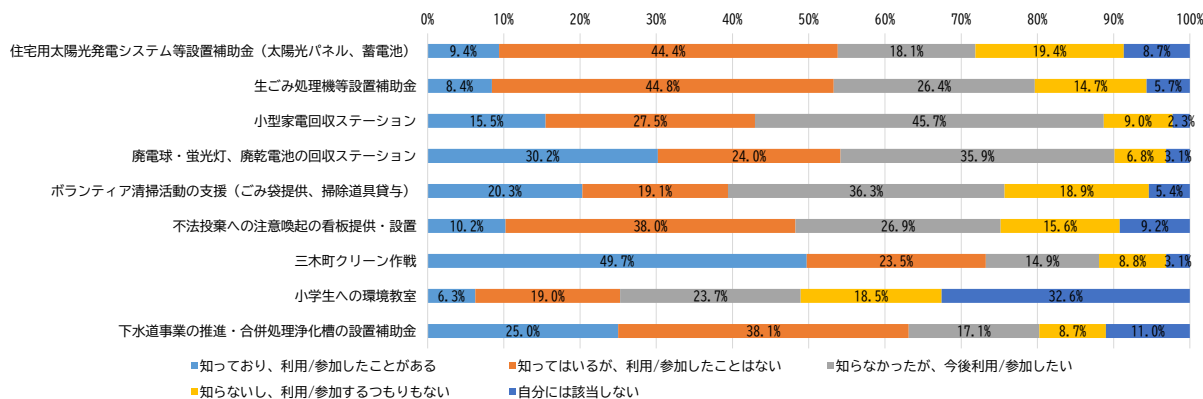
選択肢	回答数	割合
1 ホームページや広報紙などでの情報提供	285	49.0%
2 環境に関して学習できる講座の開催	30	5.2%
3 気軽に参加できる環境イベント等の実施	223	38.3%
4 環境活動の成果が目に見えてわかる指標づくり	185	31.8%
5 SNSを利用した環境情報の発信	142	24.4%
6 環境活動に取り組む町民や団体の情報交換の場づくり	64	11.0%
7 環境活動への支援	164	28.2%
8 その他	15	2.6%
有効回答数	582	100.0%
無回答	13	



	その他の内容
1	0歳からの遊びが大事だと思う。
2	SDG s
3	キレイ事を計画・周知するのではなく、成果として見えるテーマを絞り短期でたっせいさせて（例：新川の美化計画）
4	プラゴミの回収
5	ボランティア清掃活動で集めたごみを回収して欲しい。 以前は取りに来てくれていたのに、今はセンターまで自分で運んでくれと言われている。そこまでは出来ない。
6	学校での教育 幼少期からの認識の擦り込み
7	環境問題のウソを公にすること
8	危機感の欠如
9	騒音業者への指導。行政がして欲しい。
10	第一に家庭でのゴミの焼却を減少、廃絶させるための対策をしてはどうか。外来種等の放出などよりも地域からの目が行きやすい点を考慮すれば町としても対策しやすいはず。消防に連絡をしても取り合ってくれない例が多い（煙によって交通の妨げになっている場合や飛び火等の懸念がある場合は別）ので、町としても動いていただきたい（既に行っていただけなのであれば大変失礼な発言です、申し訳ございません）その次に生態系保護に資金を回してはどうでしょうか。
11	町が主体となった積極的活動
12	田んぼで燃やすのを禁止
13	野焼きの廃止or時間を決める
14	老人に情報を送る

問10. 下表にある環境推進事業は、現在三木町で実施している事業です。この内、あなたがご存じの事業はどれですか。項目ごとにあてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

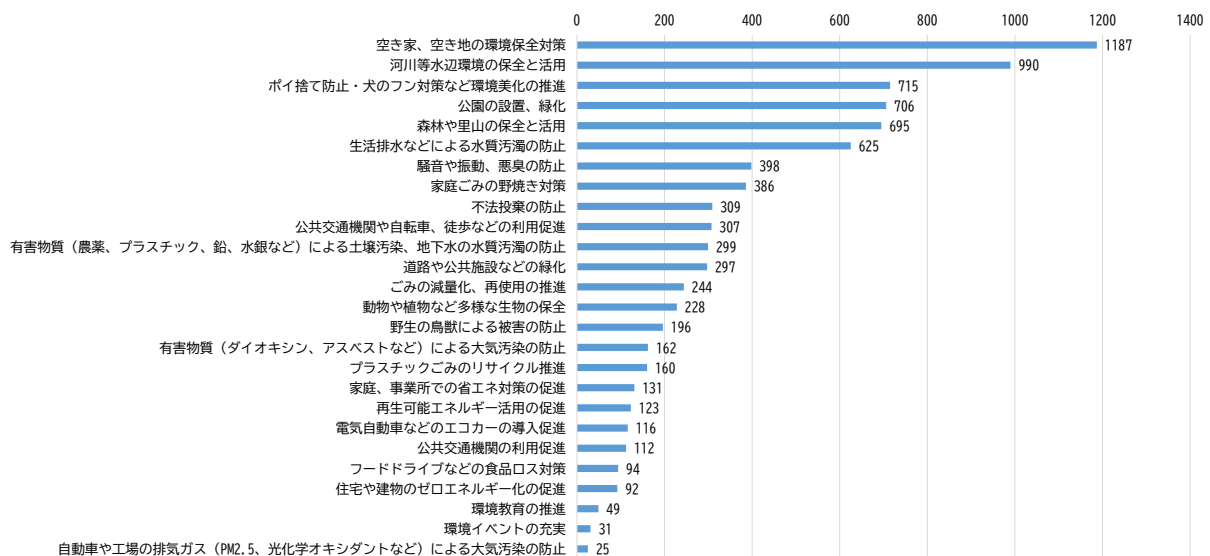
項目	選択肢							回答率				
	知っており、利用/参加したことがある	知ってはいるが、利用/参加したことはない	知らなかったが、今後利用/参加したい	知らないし、利用/参加するつもりもない	自分には該当しない	有効回答数	無回答	知っており、利用/参加したことがある	知ってはいるが、利用/参加したことはない	知らなかったが、今後利用/参加したい	知らないし、利用/参加するつもりもない	自分には該当しない
1 住宅用太陽光発電システム等設置補助金（太陽光パネル、蓄電池）	54	256	104	112	50	576	19	9.4%	44.4%	18.1%	19.4%	8.7%
2 生ごみ処理機等設置補助金	49	260	153	85	33	580	15	8.4%	44.8%	26.4%	14.7%	5.7%
3 小型家電回収ステーション	89	158	263	52	13	575	20	15.5%	27.5%	45.7%	9.0%	2.3%
4 廃電球・蛍光灯、廃乾電池の回収ステーション	174	138	207	39	18	576	19	30.2%	24.0%	35.9%	6.8%	3.1%
5 ボランティア清掃活動の支援（ごみ袋提供、掃除道具貸与）	117	110	209	109	31	576	19	20.3%	19.1%	36.3%	18.9%	5.4%
6 不法投棄への注意喚起の看板提供・設置	59	219	155	90	53	576	19	10.2%	38.0%	26.9%	15.6%	9.2%
7 三木町クリーン作戦	288	136	86	51	18	579	16	49.7%	23.5%	14.9%	8.8%	3.1%
8 小学生への環境教室	36	109	136	106	187	574	21	6.3%	19.0%	23.7%	18.5%	32.6%
9 下水道事業の推進・合併処理浄化槽の設置補助金	143	218	98	50	63	572	23	25.0%	38.1%	17.1%	8.7%	11.0%



問11. あなたは、三木町が優先して実施していく必要があると考える環境保全の取組は何だと思いますか。下表の項目の中から該当するものを5つ選び、1～5位まで順位をつけてください。

※1位:5点、2位:4点、3位:3点、4位:2点、5位:1点として点数付け

	1位	2位	3位	4位	5位	点数	順位
6 空き家、空き地の環境保全対策	103	76	63	64	51	1187	1
2 河川等水辺環境の保全と活用	71	82	59	48	34	990	2
12 ポイ捨て防止・犬のフン対策など環境美化の推進	39	55	51	48	51	715	3
4 公園の設置、緑化	56	49	40	40	30	706	4
1 森林や里山の保全と活用	66	41	34	35	29	695	5
8 生活排水などによる水質汚濁の防止	38	37	55	42	38	625	6
11 騒音や振動、悪臭の防止	26	22	35	26	23	398	7
23 家庭ごみの野焼き対策	40	18	17	19	25	386	8
13 不法投棄の防止	18	20	18	32	21	309	9
7 公共交通機関や自転車、徒歩などの利用促進	17	26	21	20	15	307	10
9 有害物質（農業、プラスチック、鉛、水銀など）による土壌汚染、地下水の水質汚濁の防止	13	27	19	19	31	299	11
5 道路や公共施設などの緑化	12	24	21	24	30	297	12
14 ごみの減量化、再使用の推進	13	12	21	23	22	244	13
3 動物や植物など多様な生物の保全	9	14	23	20	18	228	14
24 野生の鳥獣による被害の防止	11	10	15	16	24	196	15
10 有害物質（ダイオキシン、アスベストなど）による大気汚染の防止	6	13	16	10	12	162	16
15 プラスチックごみのリサイクル推進	7	12	10	17	13	160	17
17 家庭、事業所での省エネ対策の促進	7	10	7	13	9	131	18
19 再生可能エネルギー活用の促進	9	5	7	13	11	123	19
20 電気自動車などのエコカーの導入促進	5	6	12	6	19	116	20
21 公共交通機関の利用促進	5	6	8	12	15	112	21
16 フードドライブなどの食品ロス対策	2	3	11	13	13	94	22
18 住宅や建物のゼロエネルギー化の促進	5	7	5	6	12	92	23
25 環境教育の推進	3	0	4	5	12	49	24
26 環境イベントの充実	0	1	3	3	12	31	25
22 自動車や工場の排気ガス（PM2.5、光化学オキシダントなど）による大気汚染の防止	0	3	2	1	5	25	26
27 その他	1	2	1	2	1		
無回答	13	14	17	18	19		



	その他の内容
1位	遊休農地対策
2位	老人の交通機関→町による ため池の安全確認
3位	回答無し 1件
4位	太陽光パネルの廃棄問題への対応の促進。リサイクル可能なのか、 どれくらい環境を守れているのか等を含めて、設置促進が正しいのかの再考してほしい。 回答無し 1件
5位	家畜による悪臭対策

◆年代別

	全年齢	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1位	空き家、空き地の環境保全対策	公園の設置、緑化	河川等水辺環境の保全と活用	空き家、空き地の環境保全対策	空き家、空き地の環境保全対策	空き家、空き地の環境保全対策	空き家、空き地の環境保全対策	空き家、空き地の環境保全対策
2位	河川等水辺環境の保全と活用	森林や里山の保全と活用	空き家、空き地の環境保全対策	公園の設置、緑化	河川等水辺環境の保全と活用	河川等水辺環境の保全と活用	河川等水辺環境の保全と活用	河川等水辺環境の保全と活用
3位	ポイ捨て防止・犬のフン対策など環境美化の推進	河川等水辺環境の保全と活用	公園の設置、緑化	河川等水辺環境の保全と活用	森林や里山の保全と活用	公園の設置、緑化	ポイ捨て防止・犬のフン対策など環境美化の推進	ポイ捨て防止・犬のフン対策など環境美化の推進
4位	公園の設置、緑化	空き家、空き地の環境保全対策	森林や里山の保全と活用	森林や里山の保全と活用	公園の設置、緑化	生活排水などによる水質汚濁の防止	生活排水などによる水質汚濁の防止	生活排水などによる水質汚濁の防止
5位	森林や里山の保全と活用	家庭ごみの野焼き対策	ポイ捨て防止・犬のフン対策など環境美化の推進	騒音や振動、悪臭の防止	生活排水などによる水質汚濁の防止	ポイ捨て防止・犬のフン対策など環境美化の推進	森林や里山の保全と活用	森林や里山の保全と活用

◆地域別

	全地域	平木、池戸、井上、鹿伏	田中、朝倉、小養	氷上、上高岡	井戸、鹿庭、奥山、下高岡
1位	空き家、空き地の環境保全対策	空き家、空き地の環境保全対策	空き家、空き地の環境保全対策	空き家、空き地の環境保全対策	空き家、空き地の環境保全対策
2位	河川等水辺環境の保全と活用	河川等水辺環境の保全と活用	河川等水辺環境の保全と活用	河川等水辺環境の保全と活用	河川等水辺環境の保全と活用
3位	ポイ捨て防止・犬のフン対策など環境美化の推進	公園の設置、緑化	ポイ捨て防止・犬のフン対策など環境美化の推進	ポイ捨て防止・犬のフン対策など環境美化の推進	森林や里山の保全と活用
4位	公園の設置、緑化	生活排水などによる水質汚濁の防止	森林や里山の保全と活用	公園の設置、緑化	公園の設置、緑化
5位	森林や里山の保全と活用	ポイ捨て防止・犬のフン対策など環境美化の推進	生活排水などによる水質汚濁の防止	森林や里山の保全と活用	ポイ捨て防止・犬のフン対策など環境美化の推進

(2) 事業者アンケート調査結果

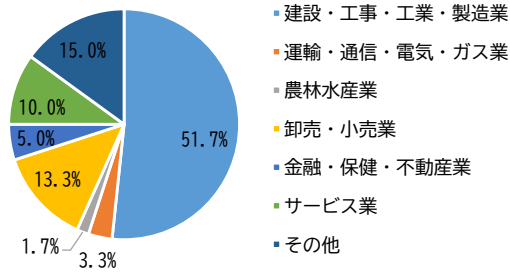
アンケート実施概要

タイトル	三木町の環境に関するアンケート調査
対象	三木町内企業
企業数	135社
調査方法	郵送による回答及びWeb回答
調査期間	2023年10月4日(木)～10月20日(金)
有効回答数	60(郵送:47、Web回答:13)
回収率	44.4%

事業者アンケート調査結果

問1. 貴事業所の業種について、あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

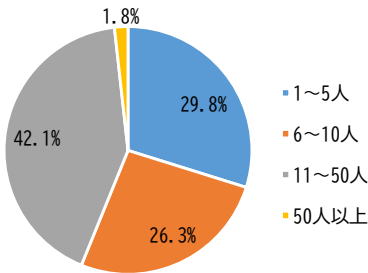
選択肢		回答数	割合
1	建設・工事・工業・製造業	31	51.7%
2	運輸・通信・電気・ガス業	2	3.3%
3	農林水産業	1	1.7%
4	卸売・小売業	8	13.3%
5	金融・保健・不動産業	3	5.0%
6	サービス業	6	10.0%
7	その他	9	15.0%
有効回答数		60	100.0%
無回答		0	



その他の内容
医療機関 6件
保育所 2件
アパレル関係 1件

問2. 三木町内の貴事業所にお勤めの従業員数（パートなども含む）を記入してください。

選択肢		回答数	割合
1	1～5人	17	29.8%
2	6～10人	15	26.3%
3	11～50人	24	42.1%
4	50人以上	1	1.8%
有効回答数		57	100.0%
無回答		3	

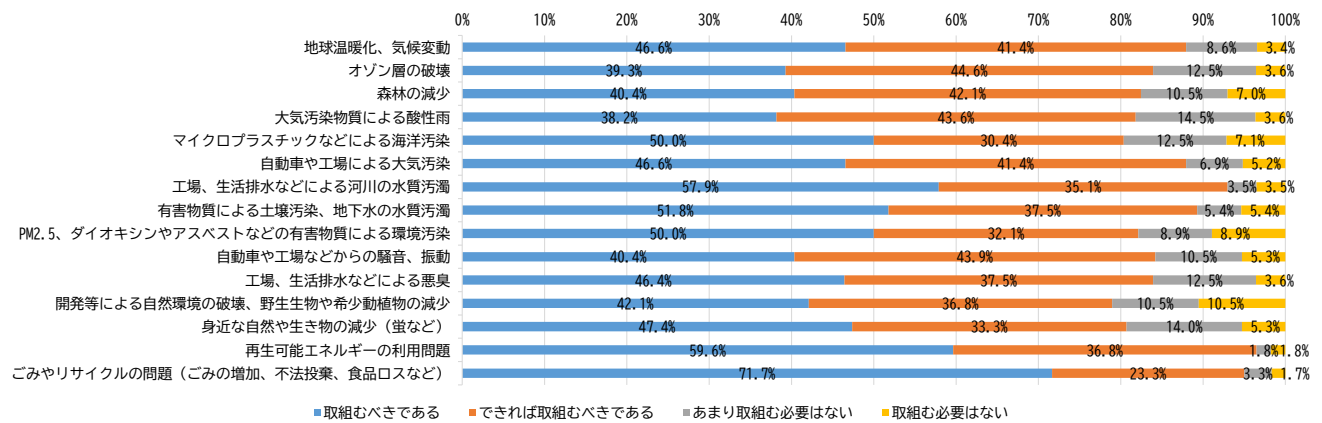


問3. 貴事業所名を記入してください。

省略

問4. 環境問題について、貴事業所が取り組むべきと考えているものはどれですか。下表の項目ごとにあてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

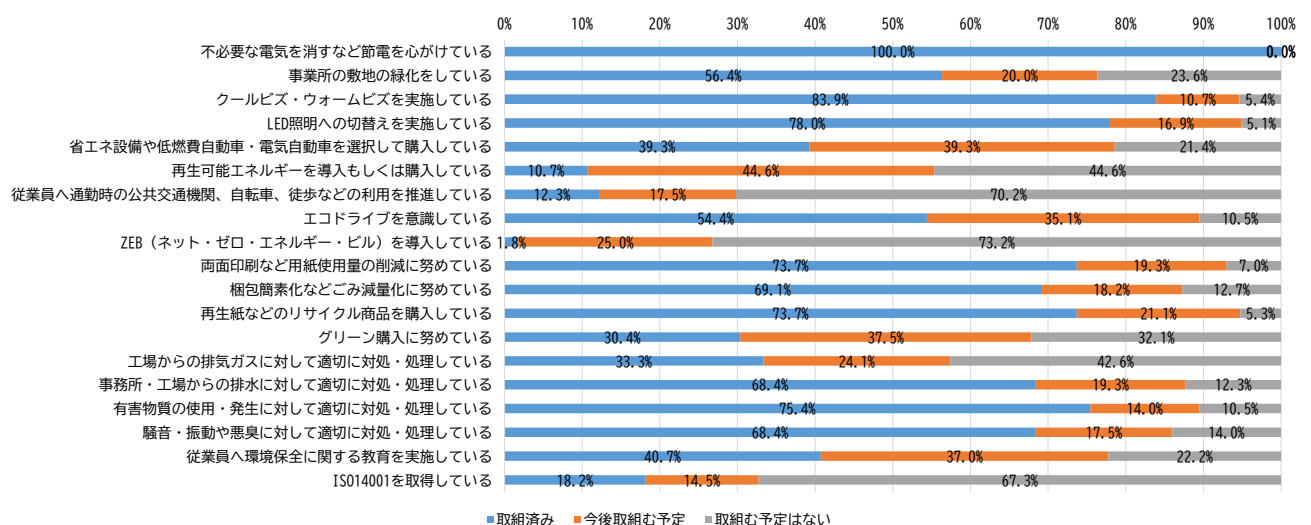
項目	選択肢						回答率			
	取り組むべきである	できれば取り組むべきである	あまり取り組む必要はない	取り組む必要はない	有効回答数	未回答	取り組むべきである	できれば取り組むべきである	あまり取り組む必要はない	取り組む必要はない
1 地球温暖化、気候変動	27	24	5	2	58	2	46.6%	41.4%	8.6%	3.4%
2 オゾン層の破壊	22	25	7	2	56	4	39.3%	44.6%	12.5%	3.6%
3 森林の減少	23	24	6	4	57	3	40.4%	42.1%	10.5%	7.0%
4 大気汚染物質による酸性雨	21	24	8	2	55	5	38.2%	43.6%	14.5%	3.6%
5 マイクロプラスチックなどによる海洋汚染	28	17	7	4	56	4	50.0%	30.4%	12.5%	7.1%
6 自動車や工場による大気汚染	27	24	4	3	58	2	46.6%	41.4%	6.9%	5.2%
7 工場、生活排水などによる河川の水質汚濁	33	20	2	2	57	3	57.9%	35.1%	3.5%	3.5%
8 有害物質による土壌汚染、地下水の水質汚濁	29	21	3	3	56	4	51.8%	37.5%	5.4%	5.4%
9 PM2.5、ダイオキシンやアスベストなどの有害物質による環境汚染	28	18	5	5	56	4	50.0%	32.1%	8.9%	8.9%
10 自動車や工場などからの騒音、振動	23	25	6	3	57	3	40.4%	43.9%	10.5%	5.3%
11 工場、生活排水などによる悪臭	26	21	7	2	56	4	46.4%	37.5%	12.5%	3.6%
12 開発等による自然環境の破壊、野生生物や希少動植物の減少	24	21	6	6	57	3	42.1%	36.8%	10.5%	10.5%
13 身近な自然や生き物の減少（魚など）	27	19	8	3	57	3	47.4%	33.3%	14.0%	5.3%
14 再生可能エネルギーの利用問題	34	21	1	1	57	3	59.6%	36.8%	1.8%	1.8%
15 ごみやリサイクルの問題（ごみの増加、不法投棄、食品ロスなど）	43	14	2	1	60	0	71.7%	23.3%	3.3%	1.7%
16 その他	1									



	その他の内容
1	水田の減少

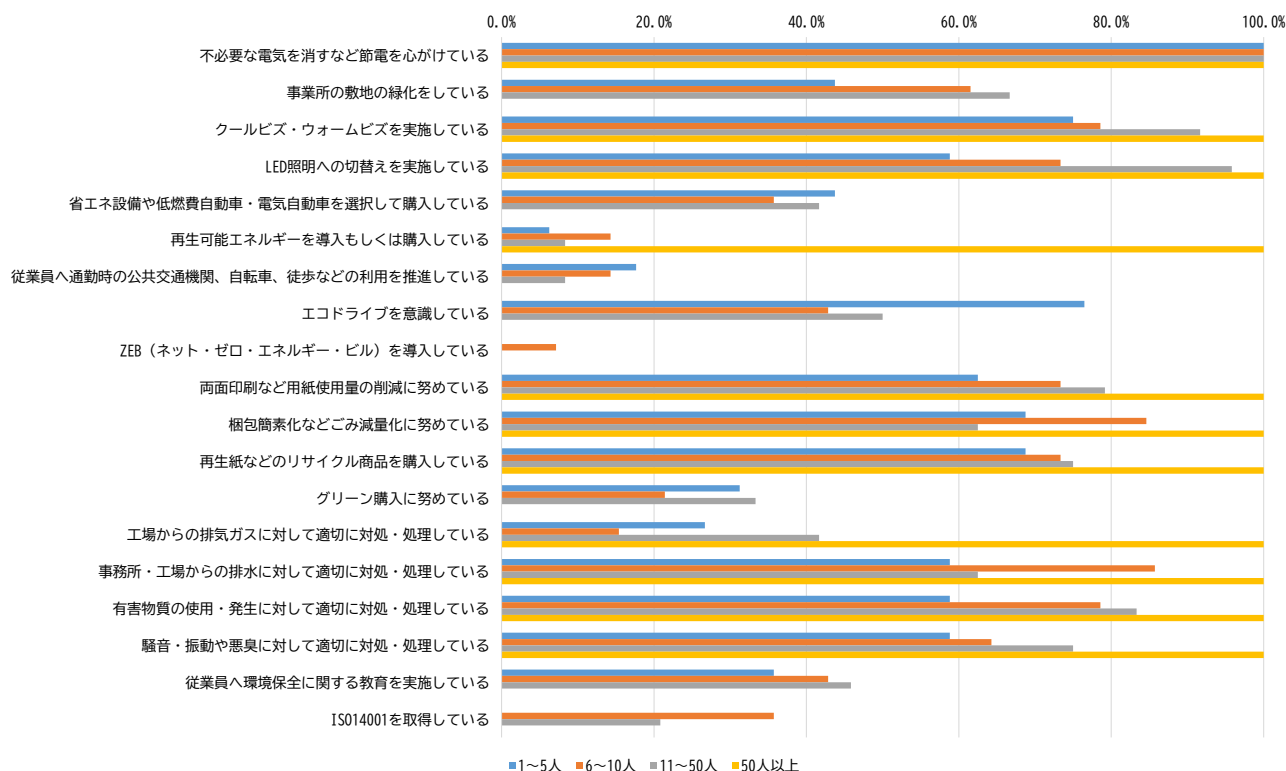
問5. 貴事業所が、日常業務の中で環境のために取組んでいることは何ですか。下表の項目ごとにあてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

項目	選択肢					回答率		
	取組済み	今後取組む予定	取組む予定はない	有効回答数	未回答	取組済み	今後取組む予定	取組む予定はない
1 unnecessary電気を消すなど節電を心がけている	59	0	0	59	1	100.0%	0.0%	0.0%
2 事業所の敷地の緑化をしている	31	11	13	55	5	56.4%	20.0%	23.6%
3 クールビズ・ウォームビズを実施している	47	6	3	56	4	83.9%	10.7%	5.4%
4 LED照明への切替えを実施している	46	10	3	59	1	78.0%	16.9%	5.1%
5 省エネ設備や低燃費自動車・電気自動車を選択して購入している	22	22	12	56	4	39.3%	39.3%	21.4%
6 再生可能エネルギーを導入もしくは購入している	6	25	25	56	4	10.7%	44.6%	44.6%
7 従業員へ通勤時の公共交通機関、自転車、徒歩などの利用を推進している	7	10	40	57	3	12.3%	17.5%	70.2%
8 エコドライブを意識している	31	20	6	57	3	54.4%	35.1%	10.5%
9 ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）を導入している	1	14	41	56	4	1.8%	25.0%	73.2%
10 両面印刷など用紙使用量の削減に努めている	42	11	4	57	3	73.7%	19.3%	7.0%
11 梱包簡素化などごみ減量化に努めている	38	10	7	55	5	69.1%	18.2%	12.7%
12 再生紙などのリサイクル商品を購入している	42	12	3	57	3	73.7%	21.1%	5.3%
13 グリーン購入に努めている	17	21	18	56	4	30.4%	37.5%	32.1%
14 工場からの排気ガスに対して適切に対処・処理している	18	13	23	54	6	33.3%	24.1%	42.6%
15 事務所・工場からの排水に対して適切に対処・処理している	39	11	7	57	3	68.4%	19.3%	12.3%
16 有害物質の使用・発生に対して適切に対処・処理している	43	8	6	57	3	75.4%	14.0%	10.5%
17 騒音・振動や悪臭に対して適切に対処・処理している	39	10	8	57	3	68.4%	17.5%	14.0%
18 従業員へ環境保全に関する教育を実施している	22	20	12	54	6	40.7%	37.0%	22.2%
19 ISO14001を取得している	10	8	37	55	5	18.2%	14.5%	67.3%
20 その他	0							



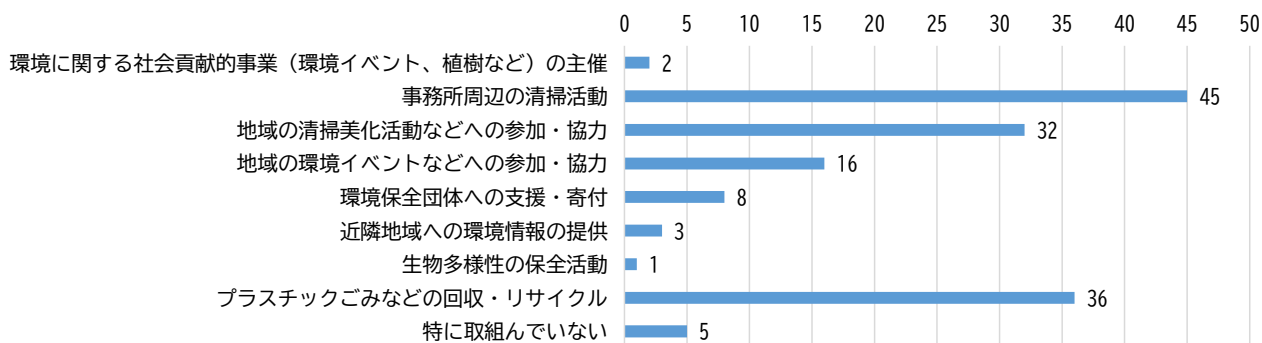
◆規模別

取組済み



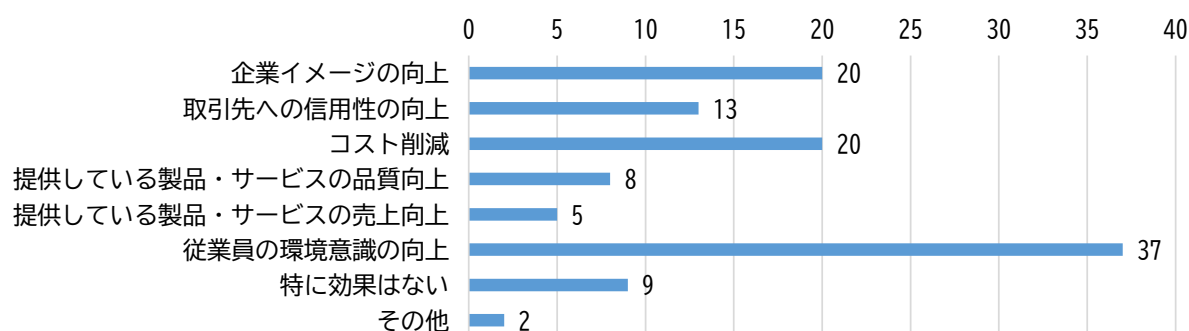
問6. 貴事業所が、地域社会の一員として地域環境のために取組んでいることは何ですか。下表の項目の中から該当するものをすべて選んで○をつけてください。

選択肢	回答数	割合
1 環境に関する社会貢献的事業（環境イベント、植樹など）の主催	2	3.3%
2 事務所周辺の清掃活動	45	75.0%
3 地域の清掃美化活動などへの参加・協力	32	53.3%
4 地域の環境イベントなどへの参加・協力	16	26.7%
5 環境保全団体への支援・寄付	8	13.3%
6 近隣地域への環境情報の提供	3	5.0%
7 生物多様性の保全活動	1	1.7%
8 プラスチックごみなどの回収・リサイクル	36	60.0%
9 特に取組んでいない	5	8.3%
10 その他	0	0.0%
有効回答数	60	100.0%
無回答	0	



問7. 貴事業所が、地域の環境活動に取り組むことで得られた効果は何ですか。下表の項目の中から該当するものをすべて選んで○をつけてください。

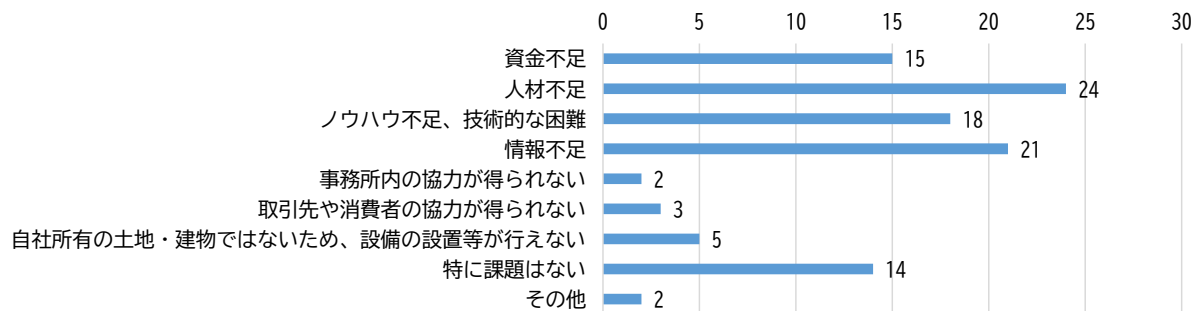
選択肢		回答数	割合
1	企業イメージの向上	20	35.7%
2	取引先への信用性の向上	13	23.2%
3	コスト削減	20	35.7%
4	提供している製品・サービスの品質向上	8	14.3%
5	提供している製品・サービスの売上向上	5	8.9%
6	従業員の環境意識の向上	37	66.1%
7	特に効果はない	9	16.1%
8	その他	2	3.6%
有効回答数		56	100.0%
無回答		4	



その他	
1	情報が何にもなし

問8. 貴事業所が、環境活動に取り組むにあたり課題となることは何ですか。下表の項目の中から該当するものをすべて選んで○をつけてください。

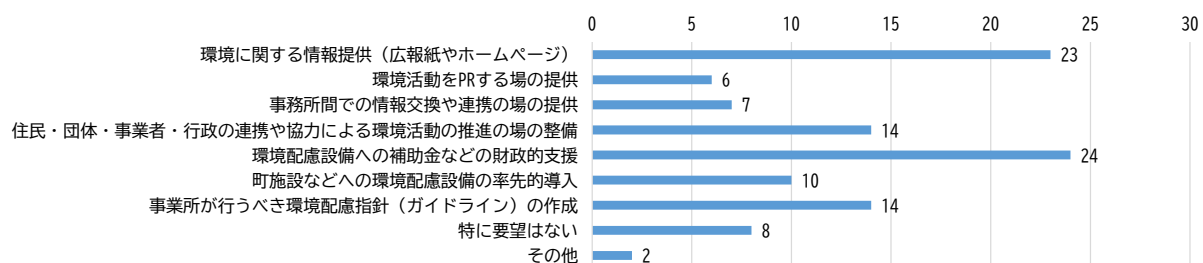
選択肢		回答数	割合
1	資金不足	15	25.4%
2	人材不足	24	40.7%
3	ノウハウ不足、技術的な困難	18	30.5%
4	情報不足	21	35.6%
5	事務所内の協力が得られない	2	3.4%
6	取引先や消費者の協力が得られない	3	5.1%
7	自社所有の土地・建物ではないため、設備の設置等が行えない	5	8.5%
8	特に課題はない	14	23.7%
9	その他	2	3.4%
有効回答数		59	100.0%
無回答		1	



その他の内容	
1	営業店単位でできることに限りがある。
2	通り抜け車両によるゴミの投げ捨て

問9. 貴事業所が、環境活動に取り組むにあたり三木町を含む行政に望むことは何ですか。下表の項目の中から該当するものをすべて選んで○をつけてください。

選択肢	回答数	割合
1 環境に関する情報提供（広報紙やホームページ）	23	39.0%
2 環境活動をPRする場の提供	6	10.2%
3 事務所間での情報交換や連携の場の提供	7	11.9%
4 住民・団体・事業者・行政の連携や協力による環境活動の推進の場の整備	14	23.7%
5 環境配慮設備への補助金などの財政的支援	24	40.7%
6 町施設などへの環境配慮設備の率先的導入	10	16.9%
7 事業所が行うべき環境配慮指針（ガイドライン）の作成	14	23.7%
8 特に要望はない	8	13.6%
9 その他	2	3.4%
有効回答数	59	100.0%
無回答	1	



その他の内容	
1	プラスチック回収への意識
2	みんなを参加させる企画、リサイクルしやすい環境（すてられない学校用品、赤ちゃん用品とかもっていける場所もらえる場所。無料）

問10. 環境政策についてのご意見やご要望、ご提案がありましたらご記入ください。

No.	内容
1	我社周辺の環境は言う事有りません。
2	高松東ファクトリーパーク内の町道、市道に他の町内の道路と比較してゴミのポイ捨てが非常に多い。物流トラックからポイ捨てされたと思われるものが多いが、工場の裏の人目に付きにくい道路で休憩のために駐車している工業団地以外の企業の営業車がポイ捨てすることも見かける。対策は難しいと思うが、ポイ捨て禁止の啓発活動は行って欲しい。
3	今の行政はあまり環境問題に力を入れていないように感じています。
4	弊社では独自に三木町内小学校に環境教育を行う、ペットボトルキャップやその他プラスチックゴミの回収をどんどん進めたい。
5	緑化については、すでに行っているので取り組む予定がない、を選択しました。

資料編 2 環境指標(数値目標)一覧表

指標	単位	現状	2030 年度目標
基本目標1. 環境と調和した地域づくりの推進			
環境学習会・イベントの実施	回	年 1 回	年 4 回
「広報みき」等による環境に関する情報発信	回	年 4 回以上	年 6 回以上
町民や事業者に向けた「環境保全に関するガイドライン」の策定	—	なし	策定
基本目標2. みんなで実現するカーボンゼロのまちづくり			
町全域の温室効果ガス排出量(年 1 回算定)	千 t-CO ₂	183 (2020 年度)	85
町役場の事務事業における温室効果ガス排出量(年 1 回算定)	t-CO ₂	1,784.5 (2021 年度)	1,148.4
公共交通利用者数(コミュニティバス等)	人	20,459 (2019 年度)	21,000 (2025 年度)※
基本目標3. ごみを減らし、資源を大切にすまちづくり			
ごみ総排出量	t	7,396 (2021 年度)	6,727 (2025 年度)※
リサイクル率	%	26.5 (2021 年度)	28.0 (2025 年度)※
基本目標4. 自然との共生を目指したまちづくり			
遊休農地の解消 (遊休農地面積/管内の農地面積)	%	0.76 (2022 年度)	0.59 (2025 年度)※
鳥獣の捕獲頭数	頭	565 (2022 年度)	760 (2025 年度)※
ニッポンバラタナゴの保全	—	町内に生息	現状維持
基本目標5. 安全で安心して暮らせる生活環境			
汚水処理人口普及率	%	69.6 (2022 年度)	75.4 (2025 年度)※
河川の BOD(新川)	mg/L	6.3 (2022 年度)	3.0 以下
ボランティア清掃の参加者数	人	548 (2022 年度)	800
老朽危険空き家除却支援件数(累計)	件	8 (2019 年度)	64 (2025 年度)※
公害苦情件数	件	96 (2022 年度)	50

※印:「三木町まち・ひと・しごと創生総合戦略」等の目標年度と数値に準じています。

「三木町まち・ひと・しごと創生総合戦略」等の計画が見直された際には、変更内容を反映します。

【あ行】

■イノベーション

新しいものを生産する、あるいは既存のものを新しい方法で生産することで、それまでのモノ・仕組みなどに対して全く新しい技術や考え方を取り入れて新たな価値を生み出して社会的に大きな変化を起こすこと。

■インフラ

インフラストラクチャーの略。社会資本のことで、国民福祉の向上と国民経済の発展に必要な公共施設を指す。各種学校や病院、公共施設のほかに、道路、橋梁、鉄道路線、上水道、下水道、電気、ガス、電話など、社会的経済基盤と社会的生産基盤とを形成するものがある。

■ウォームビズ

秋冬の室温管理を省エネ目安温度の20度にし、暖かい服装で過ごすライフスタイルのこと。

■エコバック

スーパーやコンビニで買い物をした時にお店で用意しているレジ袋の代わりに使用するバッグ。

■温室効果ガス

大気中の二酸化炭素やメタンなどのガスは太陽からの熱を地球に封じ込め、地表を暖める働きがあり、これらのガスを温室効果ガスという。二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、代替フロンなど。

【か行】

■カーシェアリング

複数の人が自動車を共同で保有し、交互に利用すること。

■カーボンゼロ

企業や家庭から出る二酸化炭素(CO₂)などの温暖化ガスを減らし、森林による吸収分などと相殺して実質的な排出量をゼロにすること。

■カーボンニュートラル

二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量をできるだけ削減した上で、削減しきれなかった分を植林・森林管理などにより二酸化炭素を吸収することで差し引きを実質的にゼロにすること。

■環境基本計画

国の環境基本計画は、環境基本法第15条の規定に基づき策定され、2018年に「第五次環境基本計画」が閣議決定された。「第五次環境基本計画」では、地域の特性を生かした強みを発揮し、地域資源が循環する自立・分散型の社会を形成しつつ、それぞれの地域の特性に応じて補完し、支えあう「地域循環共生圏」を目指すとしている。

■気候変動

気温および気象パターンの長期的な変化を指す。

■気候変動枠組条約

地球温暖化問題に対する国際的な枠組みを設定した条約。

大気中の温室効果ガス濃度の安定化、現在及び将来の気候保護などを目的とし、気候変動がもたらすさまざまな悪影響を防止するための取組の原則、措置などを定めている。

■京都議定書

1997年に京都で開催された気候変動枠組条約第3回締約国会議(COP3:京都会議)で採択された気候変動枠組条約の議定書。先進締約国に対し、2008年~2012年の第一約束期間における温室効果ガスの排出量を1990年比で、平均5.2%削減することを義務付けている。

■クールビズ

地球温暖化対策の一環として、室温設定28℃を目安に過度な冷房に頼らず、様々な工夫をして暑い日を快適に過ごすライフスタイルのこと。

■コミュニティバス

通常の路線バスではカバーしにくいような地域を補う公共交通需要に対応するために、自治体の支援を受けて導入されるバスサービス。

■コンパクトシティ

都市の中心部に行政、商業、住宅など様々な都市機能を集中させた形態や計画。大都市の膨張によって近郊市街地への人口移動が進行したことで、都市機能を徒歩圏内に集約させた小規模な町づくり。

■コンパクトプラスネットワーク

医療・福祉・子育て支援・商業等の都市機能を都市の中心拠点や生活拠点に集約すること(コンパクトシティ)に加え、住民がこれらの日常生活に必要なサービスを身近に享受できるようにするために拠点へのアクセスや拠点間のアクセスを確保(ネットワーク)するなど公共交通の維持・充実について一体的に検討する考え方。

【さ行】

■再生可能エネルギー

エネルギー源として持続的に利用することができる再生可能エネルギー源を利用することにより生じるエネルギーの総称。太陽光、風力、水力、地熱、太陽熱、バイオマスなどをエネルギー源として利用することを指す。

■里地里山

都市域と原生的自然との中間に位置し、人間の働きかけを通じて環境が形成されてきた地域。集落をとりまく二次林や植林、水田、畑、ため池などで構成される。最近では宅地などへの転用や管理不足により、里地里山の消失や質の低下が問題となっている。

■サブスクリプション

定期購読、継続購入のこと。商品やサービスを所有・購入するのではなく、一定期間利用できる権利に料金を支払うビジネスモデルを指す。

■持続可能な社会

健全で恵み豊かな環境を維持しつつ、環境への負荷の少ない健全な経済の発展を図りながら持続的に発展することができる公正で平和な社会のことをいう。

■循環型社会

大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会に代わり、製品が廃棄物となることを抑制し、排出された廃棄物などについてはできるだけ資源として適正に利用することで、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷をできる限り低減する社会。

■循環型社会形成計画

循環型社会形成推進基本法に基づき、循環型社会の形成に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために定めるもの。

■食品ロス

まだ食べられるのに廃棄される食品のこと。小売店での売れ残りや返品、製造過程で発生する規格外品、飲食店や家庭での食べ残し、食材の余りなど。

■水素ステーション

燃料電池自動車（FCV）に水素を供給するための施設。各種燃料をその場で改質して水素を作り貯蔵・供給するステーションと、外部から輸送した水素をその場で貯蔵し、供給するステーションがある。

■生物多様性

全ての生物の間に違いがあることを指す。「生体系の多様性」「種の多様性」「遺伝子の多様性」の3つの段階で多様性がある。

【た行】

■太陽光発電

住宅の屋上などに太陽電池を設置して、太陽の光エネルギーを電気エネルギーに変換する仕組み。

■脱炭素社会

二酸化炭素、メタン、フロン類など、地球温暖化を進行させる温室効果ガスの排出を実質ゼロにした社会のこと。国は、2050年までに脱炭素社会を目指すとしている。

■地球温暖化

地球全体の平均気温が上昇する現象。生態系に悪影響を及ぼすおそれがある。主な原因は、人工的に排出される二酸化炭素やメタンなどの温室効果ガスであり、産業革命以降、化石燃料を大量に使用することで加速化したとされる。

■地球温暖化対策計画

地球温暖化対策推進法に基づく政府の総合計画で、温室効果ガスの排出抑制及び吸収の量に関する目標、事業者・国民などが講ずべき措置に関する基本的事項、目標達成のために国・地方公共団体が講じるべき施策などを記載したもの。

■地中熱

浅い地盤中に存在する低温の熱エネルギーのこと。大気の温度に対して、地中の温度は地下10～15mの深さになると、年間を通して温度の変化が見られなくなるため、夏場は外気温度よりも地中温度が低く、冬場は外気温度よりも地中温度が高い。この温度差を利用して効率的な冷暖房等を行うことが可能。

■超高齢化社会

65歳以上の人口の割合が全人口の21%を占めている社会を指す。

■デマンド型バス

利用者の予約に応じる形で、運行経路や運行スケジュールをそれに合わせて運行するバスの事。

【は行】

■ハザードマップ

地震、津波、高潮、洪水、浸水、噴火、土砂災害などの被害を予測し、被害のおそれのある地域や避難に関する情報を掲載した地図。

■パリ協定

2020年以降の気候変動問題に関する、国際的な枠組みのこと。2015年にパリで開かれた、温室効果ガス削減に関する国際的取り決めを話し合う「国連気候変動枠組条約締約国会議（通称 COP）」で合意され、2016年11月に発行した。気候変動問題に関する国際的な枠組みで、「京都議定書」の後継となる。

【ら行】

■ライフスタイル

生活様式のこと。現在は資源とエネルギーを浪費するライフスタイルであるとされている。環境問題の解決や持続可能な社会づくりのためには、経済システムとライフスタイルの根本的な変革が必要だとの認識が国際的になされている。

■ライフライン

市民生活の基盤となる生命線。電気、ガス、上下水道、電話、交通、通信などの都市生活を支えるシステム（インフラストラクチャー）の総称。

■レッドデータブック

レッドリストに掲載された種について、それらの生息状況や存続を脅かしている原因等を解説した書籍。

【わ行】

■ワンウェイプラスチック

一度だけ使われて廃棄されるプラスチック製品のこと。お弁当を購入した際のプラスチック製のフォークやスプーンなどがある。

【英字】

■ESD

Education for Sustainable Developmentの略で「持続可能な開発のための教育」と訳される。世界の環境、貧困、人権、平和、開発といった様々な現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組む（think globally, act locally）ことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動で、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育とされている。

■ISO14001

国際標準化機構（ISO）が1996年に制定した環境マネジメントシステムの国際規格。環境に配慮し、環境負荷を継続的に減らすシステムを構築した組織に認証を与えている。

■LED

Light Emitting Diodeの略。電流を流すと発光する半導体素子の一種。白熱灯とは異なり、電気エネルギーを直接光に変換するため、電気エネルギーの90%以上を光に変換できる。

■PDCAサイクル

Plan（計画）、Do（実施）、Check（点検）、Action（是正）を意味し、品質向上のためのシステムの考え方のこと。単にPDCAという場合もある。

■PPAモデル

Power Purchase Agreementの略で、電力販売契約と意味し、第三者モデルとも呼ばれている。PPA事業者が太陽光発電システムを無償で設置し、発電した電力を建物の所有者に販売するビジネスモデルのこと。

■SDGs

2015年9月の国連サミットで採択された17のゴール・169のターゲットから構成される国際目標。ゴールとして貧困・福祉対策や経済対策、気候変動対策などが掲げられており、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓ったものとなっている。